

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376600405
事業所名	JA愛知厚生連あつみの郷グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域行事への参加をはじめ、地域見守りオレンジ隊、隣接する児童センターや渥美農業高校との交流、福祉専門学校実習生の受入れ、キャラバンメイトとしての協力など地域密着型サービスとしての使命を余すところなく果たしています。認知症カフェにより多くの人が集えるよう地域の商店街や病院、市役所などチラン配布場所を拡大し、民生委員の協力も得ながら呼びかけています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 奇数月に定期開催しています。利用状況の報告とともに、写真を交えた活動報告と、グループホームにおける食事やリハビリへの取組の意図を説明し、事業所理解を図っています。市高齢福祉課、地域包括支援センター職員、民生委員、市民館館長、近隣グループホーム管理者といった豊富なメンバーが集まりさまざまな意見が交わされている議事録を視認しました。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には常に地域包括支援センター職員の出席があります。昨年11月から再開した認知症カフェへの参加者数が伸び悩むなか、その解決策を話し合い、市役所はじめ地域包括、市民館などにチランの設置を依頼し、連携を図りながら進めています。また、認知症サポーター養成講座におけるキャラバンメイトの依頼を受け、5月にはJA婦人部に出向いています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年に一度家族アンケートを実施し、今回はより多くの意見が聴取できるよう内容の見直しを図っています。日頃の様子は毎月発行する「せせらぎ便り」「さざなみ便り」で知らせる他、担当職員が電話で近況を伝え、介護計画の進捗状況を報告するとともに要望を聴取しています。利用者の意向は、隣に座ってゆっくり話す時間を作ったり、入浴や散歩、就寝介助など、職員と一対一になる時間にじっくり聴き取っています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	○							

【備考欄】

--